

回会報

新日本美術協会

新年の挨拶 会長 中尾不二夫

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様にはご健勝のこととお喜びを申し上げます。

私は残念なことに病床にあつて、三十七回展には出席できませんでしたが、出品数、入場者数など増加、作品内容も従来にも増して充実し、会期を通して盛大で無事終了した由、大変うれしく思います。これは展覧会実行委員始め会員が一致協力した賜物と思えます。

今までも述べて来たことですが本会は公明正大、民主的な運営をモットーとして発展すべきと言ってきた。その精神が脈々と生き付いていることが感じられ心強く思います。又、普段から会運営の為の色々な事務・会計などの業務を無償で行っている委員の事も忘れてはならないと思えます。

本会が今後40回・50回と継続発展していくためには、民主的な運営と全会員の協力が必要であることは言うまでもないが、特に審査にあたっては公明正大でなければなりません。作品制作では互いに切磋琢磨して競い合い、結果に於いては謙虚に受け止め、互いに尊重するという精神が大事である。

会の運営に当たっては、特定の人に負担が集中し過ぎないように工夫改善してほしい。過重な負担は長続きしません。幸い種々の改善機運が出て来ているようなので是非実行して頂きたい。

私も早く皆様の前に出られるよう体力回復に精進したいと思えます。最後に皆さまの今年一年の健康を祈ります。

事務局
千葉県柏市大津ヶ丘
3-17-17-401
森屋治三方
TEL04-7191-6760

編集委員
本部 小高峯夫
富岡ネム
大石 亨
京都 四方公子
広島 藤原清二

次号平成26年5月予定

37回展優秀作品

作品講評 中野 中先生



文部科学大臣賞
神内 颯(福井)
油彩画 S100
「越前の海V」

福井に住まう画家にとつて、越前の海は親しく眺めて来た、いや付き合い向き合ってきた存在だ。

波は岩を噛み、砕け、引いては返し白波を立てる。崖上からその一部始終を見詰める画家にとつて、波も岩礁も命そのものなのだ。荒々しさの中に沈もる深い思いが込められている。



東京都知事賞
飯村君江(京都)
コラーージュ F100
「変容—断章」

和紙を多彩に染め、切り裂き、はり重ねる。そこに表されたのは何か。シャープな、天から地へ急降下するような抽象造形は、視覚を魅了し、心の奥深く切り込んでくる。価値観の変容する人生の断章、今の思いを画家は紡いだのだ。わずかにのぞく明彩に明日への展望が感じられよう。



新人賞
船渡義郎(東京)
陶芸
「無常」



新日美大賞
鈴木 勇(茨城)
石彫
「古代の時」



東京都議会議長賞
福間 基(島根)
陶芸
「粉青青瓷釉壺」



新人賞
片桐金治郎(千葉)
油彩画 F80
「冬枯れ(手賀沼)」



新人賞
石村空也(埼玉)
油彩画 F50
「古里の秋」



新日美大賞
色摩光雄(東京)
油彩画 F100
「里 山」



東京都議会議長賞
清水泉州(島根)
水墨画
140×135cm
「松 韻」

委員コラム

年輪 宮嶋ふみ子

昨年夏、二人の子供達が私たち夫婦の金婚祝を何の前振れもなく突然催してくれました。あまりの予期せぬ出来事に流れる涙が止まりませんでした。思い起こしてみますと昭和三十八年十一月二十三日、式の当日ケネディ大統領が暗殺されたニュースが流れました。翌三十九年は東京オリンピック、又オイルショック等々めまぐるしく時が流れました。

五〇年と一口に申しますが嬉しいこと悲しいこと数えきれない程沢山ありました。そして今四人の孫に恵まれ日々健康で静かな生活が送れます事に感謝しております。夫は昨年八十歳の傘寿を迎えました。同じく天皇様も傘寿をお迎えなされて、「感想に、皇后が側におられる事に安らぎを覚えます」と述べておられました。はたして私はと疑問を感じます。ちなみに六十歳は還暦、七十歳は古希、七十七歳は喜寿、八十八歳は米寿、九十九歳は白寿と節目が年輪に刻まれます。

私自身還暦に竹馬の友と常念岳(二、八五七米)登山をし、二年前古希を迎えてから一念発起して毎日一万歩を目標にウォーキングをスタートさせ、大変ではあるが続けております。

新日美も三十七回の公募展を終え、五十回となる日も存外早いものと思えます。人間という金婚式です。長い年月を支え続けてこられた大勢の方々の尽力と会長の変わらぬ会への強い思いが今日健在であることと思えます。このまま発展し、ずっと息の長い会であるように祈りたいと思えます。

さて私自身これからの人生はと問われたときに疑問ばかりです。先ず苦手の美学の道を悪戦苦闘しながら、又努力を惜しまず未知の世界に踏み込んでいこうと思えますが……はたして今年の干支さん(午年)大丈夫でしょうか？

私のモットーは「苦手の事に向かう勇気が新たな人生を切り開く力となる」です。自分の力より目標を上に掲げ粘り強く描き続けたいと決めました。そして今年という年輪の中にたくさんの思い出を作ろうと……そして会のために皆様と一緒に歩んでいこうと……